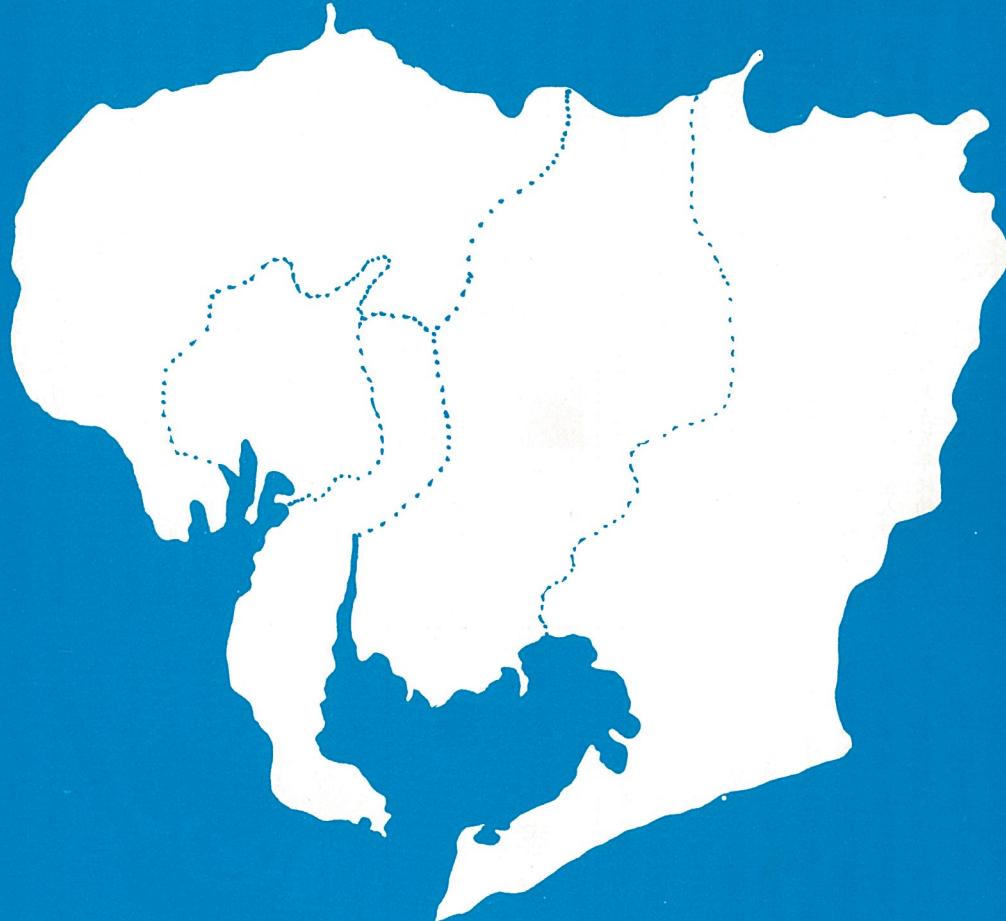


観の眼



—— 目 次 ——

巻頭言	1	高体連だより	15
全国健康福祉祭	2	小中体連だより	16
女子剣道の効果的な指導について	4	地区だより（西三河）	18
学科試験を大切に	6	称号及び段位合格者	21
第39回全国教職員剣道大会	7	事務局だより	22
会員の声	10	平成10年度事業計画	23
園児と剣道	13	連盟所在地	26
幼児教育と剣道	14	編集後記	26

第22号



財團
法人

愛知県剣道連盟

も頑張つて、緒戦大阪府に二対二の同本数で引分け、次の広島県には三対二で勝ち決勝トーナメントの資格を得たものと思つていた。その夜、寒河江市主催の歓迎レセプションに意気ようようと参加し、愛知県チームに「良かったネ」とお祝いを言ったところ「いや違う福岡県だ」と言う返事。驚いて真相を聞いたところ、四チームのリンク方式により一勝一敗の福岡が一勝一分の愛知より勝者数が一人上廻つていたため、採点方法により愛知が二位となり涙を飲むこととなつた。非常に残念なことでした。

来年は愛知にて行われるので、このような事がないようにして皆が納得のいくような要項にして貰いたいものです。レセプションでは山形の銘酒やワインが次々と抜かれ、寒河江市の市長以下市の幹部及び来年開催地の西尾市からも市役所の幹部始めトーナメントにそなえる事ができました。明けてトーナメントの朝、ミーティングで山本理事長より「今日はリラックスして戦ってくれ」との訓辞を受け、大いに盛上つて明日の決勝トーナメントは東京都、試合前二階席より緒戦は東京都、試合前二階席より

名古屋市チームは第十回大会にてはじめての決勝進出であり、準優勝の栄誉に輝いたことは、大いにほめてやつて頂きたい。

試合を振り返つてみると、好成績の原因はチームワークの良さが一番にあげられる。強化練習及び宿泊を通じ、又宿舎での懇親等大いに語らい、そして大いに笑い合つてお互の気心が判り、打ちとけ合つて非常に良いムードになつてゐた。

それが試合にも反映して全員が一つになり最小得点を守り抜いた結果だと確信している。他のどのチームよりもチームワークが良かったと自負している。やはり団体試合はチームの和が大切である。

最後に、寒河江市の地元の人達と親しくなり、私達チームを二日間にわたり自家用車で山寺の立石寺と慈恩寺、それにエリーランド等案内して頂き、大会の主旨である、県民との暖かいふれ合いができ、山形新聞には写真入りで掲載されて大変有意義な大会を体験してきました。これからも益々精進して、ねんりんピック'98愛知・名古屋大会にも、出場し今度は、優勝の栄誉に輝くことを念じております。

も頑張つて、緒戦大阪府に二対二の同本数で引分け、次の広島県には三対二で勝ち決勝トーナメントの資格を得たものと思つていた。その夜、寒河江市主催の歓迎レセプションに意気ようようと参加し、愛知県チームに「良かったネ」とお祝いを言ったところ「いや違う福岡県だ」という返事。驚いて真相を聞いたところ、四チームのリンク方式により一勝一敗の福岡が一勝一分の愛知より勝者数が一人上廻つていたため、採点方法により愛知が二位となり涙を飲むこととなつた。非常に残念なことでした。

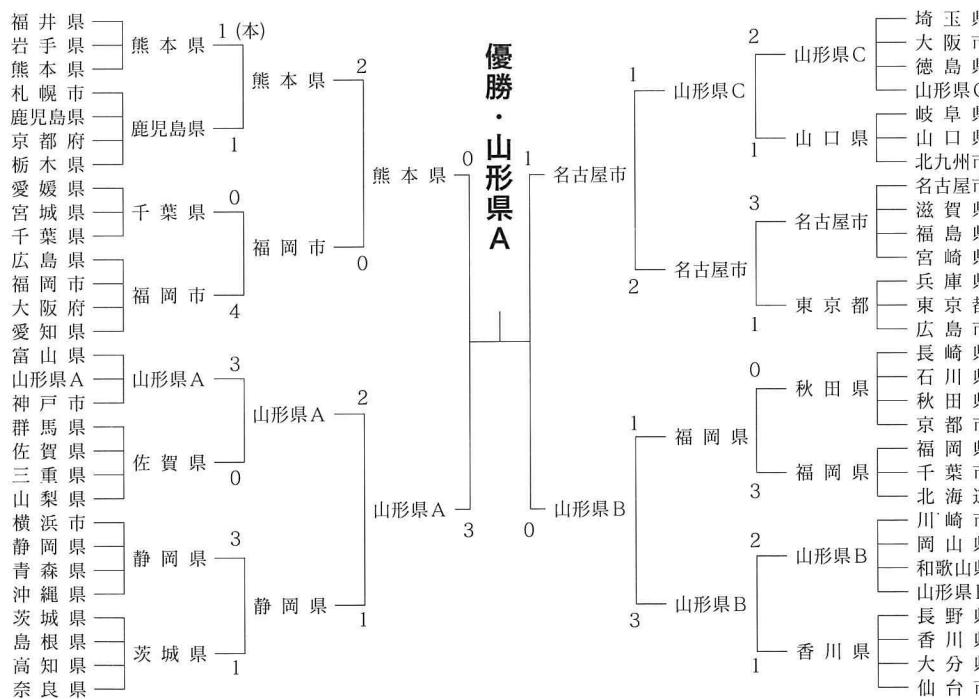
来年は愛知にて行われるので、このような事がないようにして皆が納得のいくような要項にして貰いたいものです。レセプションでは山形の銘酒やワインが次々と抜かれ、寒河江市の市長以下市の幹部及び来年開催地の西尾市からも市役所の幹部始めトーナメントにそなえる事ができました。明けてトーナメントの朝、ミーティングで山本理事長より「今日はリラックスして戦ってくれ」との訓辞を受け、大いに盛上つて明日の決勝トーナメントは東京都、試合前二階席より

緒戦は東京都、試合前二階席より



第10回 全国健康福祉祭 剣道交流大会

(9月21日(日)~22日(月)・寒河江市市民体育館 主催・厚生省 山形県)
(財)長寿社会開発センター 第10回全国健康福祉祭山形大会実行委員会
寒河江市 第10回 全国健康福祉祭寒河江市実行委員会



剣を使い、打ち合いに抵抗感をなくさせた。

才 面頭巾、小手下の購入を奨励した。

力 バレーボールを利用し、打突の感覚と竹刀の操作に慣れさせた、テニスボールを使つてより正確な打突ができるようとした。

キ 生徒の学習意欲が低くならないよう、少しづつ高度な内容に発展させ、新しい技能を習得する度毎に基本試合・簡易試合を行つた。

ク 個人スキルテスト実施時に生徒間で相互評価をさせた。

ケ 前年度までの履修者と初めての履修者との技術的到達目標を区別し指導した。

コ 日本剣道形の学習を通して剣道の特性、理合をより深く理解できるようにした。

サ 日本剣道形一本目、二本目、五本目を防具を装着した状態で打ち合う形にアレンジし、実際に打ち込み動作を入れて実施した。

シ 前記サの日本剣道形を発表会という形態で一組ずつ発表させた。

二 教科以外における武道指導

(一) 武道指導推薦事業

平成八年十月二十三日、武道指導推進事業の一環として、生

徒の武道に対する意識の高揚を図るため、一・二年生全員を対象に愛知県警察剣道師範東一良先生による講演及び県警剣道特練生の方々による模範試合を実施した。

(二) 体育的行事における実践

平成七年度よりスポーツ大会の種目に剣道を新たに加え意識の高揚を図った。

三 実践の成果

(一) 平成九年度の事後アンケート

において「剣道の楽しさ学べたか」の質問に一・二年生ともに九十六%以上の生徒が、剣道の楽しさを学べたと答えている。その大きな要因の一つとして紅白戦(合戦方式)を実施したこととが関連していると思われる。

「授業内容で一番楽しかったもの」のアンケートで一年生では四十四%、二学年では四十三%の生徒が紅白戦が楽しかったと答えていた。一・二年生とも最終の授業で紅白戦を実施し、その後のアンケート調査であつ

たこともあり、多くの生徒が楽しかったという印象を強く持つのではないかと思われる。

この「剣道の楽しさを学ぶことについて、授業ではチャン

スラゲーム、ボール打ち、紅白戦等を実施し、剣道に対する意欲や興味・関心を高めるように努めた。アンケート結果からもこれらの授業内容は、生徒の意識の中に強く残っていることがわかる。「剣道の楽しさを学ぶ」ということについては大きな成果を上げたと思われる。アンケートの結果、平成九年度一・二年生剣道履修者百四十四人の内、百人が来年度、剣道を選択するかもしれないと答えていることからも、剣道について興味・関心を持つようになつたと考えられる。

さらに、基本試合・簡易試合を習得した技能に応じて適宜実施したため、常に自分の技能・技術を他の生徒と比較することができる、各自の目標の設定に役立てることができた。その結果、新しい技への興味・関心が増し、意欲的・積極的に授業に取り組む姿勢が見られ、「剣道の樂し

さを学ぶ」という観点からも十分効果があつたのではないかと思われる。

(二) 前年度までの履修者と初めての履修者との技術的到達目標を区別することにより、初めて履修する生徒の技術目標が段階的に明確になり、技の習得を早めることにつながつた。

(三) 三学年で実施した日本剣道形に明確になり、防具を装着した状態での打ち合いとは違つた、剣道の奥深い一面を感じとつていた

ようである。また、日本剣道形を独自にアレンジし、防具を装着した状態で実施した剣道形の動作や理合の理解に意欲的に取り組むことができ、剣道形の学習では、抜き技・すり上げ技の動作が予想以上に強く、高段者の実施しているビデオを鑑賞することにより、防具を装着した状態での打ち合いとは違つた。

さを学ぶ」という観点からも十分効果があつたのではないかと思われる。

(四) 平成九年度の剣道授業終了後の三年生での事後アンケートで、今後どこかで機会があれば剣道をやつてみたいと思いますかの質問に対し十九%（七十二人中十四人）の生徒が「やりたい

おわりに

平成七年度から三年間にわたり文部省指定武道指導推進校として研究を進めてきた。平成六年度まで未実施の状態からスタートした女子剣道の授業は、試行錯誤を繰り返しながら、今年度全学年での選択履修となつた。剣道経験の浅い教師でも指導できるように工夫し、資料等を整えて授業展開など研究、改善しなければならない課題・問題点は数多くある。研究指定は今年度で終るが来年度以後も今年度までの研究実践を発展させ、本校生徒に適した指導法の確立を目指していきたい。

最後になりましたが、武道指導推進校の研究を進めるにあたり三年間にわたりご指導・ご助言をいただきました現・県立守山高等学校教頭中

学科試験を大切に

広報委員
田 中 弘

と思う」と答えている。生涯剣道の観点から、授業が効果的であつたかどうかは現時点では判断しづらいが、十九%の生徒が「やりたいと思う」と答えたということは、少なくとも生涯剣道につながる指導ができたのではないかと考えている。今後、実際にこの生徒達が剣道に親しむ機会があることを願つていている。

剣道の楽しさを学ぶことについて、授業ではチャンスラゲーム、ボール打ち、紅白戦等を実施し、剣道に対する意欲や興味・関心を高めるように努めた。アンケート結果からもこれらの授業内容は、生徒の意識の中に強く残っていることがわかる。「剣道の楽しさを学ぶ」ということについては大きな成果を上げたと思われる。アンケートの結果、平成九年度一・二年生剣道履修者百四十四人の内、百人が来年度、剣道を選択するかもしれないと答えていることからも、剣道について興味・関心を持つようになつたと考えられる。

さらに、基本試合・簡易試合を習得した技能に応じて適宜実施したため、常に自分の技能・技術を他の生徒と比較することができる、各自の目標の設定に役立てることができた。その結果、新しい技への興味・関心が増し、意欲的・積極的に授業に取り組む姿勢が見られ、「剣道の樂し

さを学ぶ」という観点からも十分効果があつたのではないかと思われる。

この「剣道の楽しさを学ぶことについて、授業ではチャンスラゲーム、ボール打ち、紅白戦等を実施し、剣道に対する意欲や興味・関心を高めるように努めた。アンケート結果からもこれらの授業内容は、生徒の意識の中に強く残っていることがわかる。「剣道の楽しさを学ぶ」ということについては大きな成果を上げたと思われる。アンケートの結果、平成九年度一・二年生剣道履修者百四十四人の内、百人が来年度、剣道を選択するかもしれないと答えていることからも、剣道について興味・関心を持つようになつたと考えられる。

さらに、基本試合・簡易試合を習得した技能に応じて適宜実施したため、常に自分の技能・技術を他の生徒と比較することができる、各自の目標の設定に役立てることができた。その結果、新しい技への興味・関心が増し、意欲的・積極的に授業に取り組む姿勢が見られ、「剣道の樂し

さを学ぶ」という観点からも十分効果があつたのではないかと思われる。

この「剣道の楽しさを学ぶことについて、授業ではチャンスラゲーム、ボール打ち、紅白戦等を実施し、剣道に対する意欲や興味・関心を高めるように努めた。アンケート結果からもこれらの授業内容は、生徒の意識の中に強く残っていることがわかる。「剣道の楽しさを学ぶ」ということについては大きな成果を上げたと思われる。アンケートの結果、平成九年度一・二年生剣道履修者百四十四人の内、百人が来年度、剣道を選択するかもしれないと答えていることからも、剣道について興味・関心を持つようになつたと考えられる。

さらに、基本試合・簡易試合を習得した技能に応じて適宜実施したため、常に自分の技能・技術を他の生徒と比較することができる、各自の目標の設定に役立てることができた。その結果、新しい技への興味・関心が増し、意欲的・積極的に授業に取り組む姿勢が見られ、「剣道の樂し

さを学ぶ」という観点からも十分効果があつたのではないかと思われる。

この「剣道の楽しさを学ぶことについて、授業ではチャンスラゲーム、ボール打ち、紅白戦等を実施し、剣道に対する意欲や興味・関心を高めるように努めた。アンケート結果からもこれらの授業内容は、生徒の意識の中に強く残っていることがわかる。「剣道の樂し

第三十九回全国教職員剣道大会

“好成績の回想”

監督 光永 勉

連日の猛暑の中八月十日（日）、神奈川県慶應義塾大学日吉記念館において第三十九回大会が開催されました。

大会にあたり、会長・坂本三十次、全剣連会長・武安義光両氏は「二十世紀に向けての正しく高次の社会づくり」を強調。剣道指導者は教育現場の範となる期待を述べられました。玉の汗が全身にじむ会場、館内は一功の冷房設備も無し、大会進行においては無想無念、心気力の一致を見る。正に言葉通り「範の糧」を授かる大会でありました。

成績、及び寸評でありますが、

【個人戦】

幼小学校の部 山下浩城 優勝

猛暑の中、試合中の心技体（勝ちの自信と、先を持つての攻撃力）の充実さは素晴らしい、目を見張る物があり感動の限りであった。また、休息時の調整（メンタルトレーニン

二十五歳になつた今、「どうしてここまで剣道を続けることができたのだろう」と考えてみた。その要因の一つとして、他の人には負けない何かが欲しかつたのだろうと思う。学校の成績が悪くて、先生にしかられても、「剣道」がいつも「自分の居場所」を作つてくれていた。やめてしまえば、どんなに楽だろうと考えたことがある。しかし、いつもきまつて「やめたたら自分に残るものはない」と言い聞かせることで続けることができたのだと思う。

剣道を続けていたと言つても、決して練習することが好きだったとは言えない。特につらい練習は大の苦手だった。稽古の厳しい先生の前に並ぶことは、自分にとつてとても勇気がいることだつた。厳しい練習だと分かっていても自ら進んでそこに並び、稽古をつけてもらう者を尊敬した。苦しいことに對して、自らぶつかつしていくのは、つらいことだと思う。しかし、渾身の力でつらい稽古も何とか乗りきつたときには、そのことが自分で自分にとって、とても大きな自信になつた。勝負は、「時の運」というが、日頃の練習で身につけたことが試合で發揮され、結果となつて返つてくることは言うまでもない。

広（勝）	先・浜崎高宣（敗）	次・上山敏
中・白石裕章（敗）		
涉（敗）		
大・北村滋敏（敗）	本県一対四	
	の成績で岡山県に一回戦敗退。	
	以上の通りありました。	

総評とし、質実とも充分な選手を代表としての出場がありました。理事長・中村薰先生からの叱咤激励も多大で選手一丸となり、一戦一戦力を持って正々堂々戦い抜いた成果に対し感激の極みであります。

最後に、多大なご支援を頂いた県下教職員、及びご家族のご声援も

剣道連盟に対し深く感謝いたします。

力を持って正々堂々戦い抜いた成果

に對し感激の極みであります。

最後に、多大なご支援を頂いた県下教職員、及びご家族のご声援も

剣道連盟に対し深く感謝いたします。

力を持って正々堂々戦い抜いた成果

三回戦、四回戦は、自分の間違いで、長い間、自分を攻撃され、延長戦にもつれ込んだ。延長戦では、失うものが何もないことがやっとわかつたのか、捨て身の面がきまり、かろうじて勝つことができた。

で落ち着いて試合できたと思う。だんだん体力を消耗しつつあつたので、手数をできるだけ少なくした。自分の打てるときだけ打つように試合を進めた。このとき初めて、普段の練習の重要さを知った。体がだるくて、動かなかつたときこそが、試合においては勝敗を左右するのだということが分かつた。呼吸も落ち着いており、心拍数も正常なときには誰しも試合を進めやすいが、そうでないときこそお互いの打突の機会となりうるのである。「ここだ」と思った時にだけ全力で打突したことが、勝つことができた要因だったのではないと思う。

準決勝では、勝ちたいという気持ちが一番強く出た試合だつた。これに勝てば、決勝戦に出場できると思つたからだ。気持ちが通じたのか、出ばな面が一本決まり、勝つことができた。試合が進むにつれて、どんどん

待ち、共に稽古をいたしました。私がとつて大きな力となりました。そして、大会直前に監督として出場したインターハイは、全国大会の雰囲気、緊張感、そして選手達が試合に賭ける意気込みや負けた時の悔しさ、勝つことの喜びといった高校時代に味わった経験を甦らしてくれ、私にとつても良い刺激となりました。

そして迎えた八月十日の試合当日、この日は夏本番を感じさせる、大変暑い日であり、会場にも熱気が漂っていました。そんな中、他の先生方の御協力によりアップを終え第一試合に臨みました。第一試合は昨年三位入賞の選手であり、いつも初戦に堅くなり、思い切った技が出せず、気ばかり焦つてバタバタしてしまって、という失敗を繰り返してきた私は、ここが山場と思い、じっくり落ちついて戦う、と心にいい聞かせコートに入りましたが、案の定、一人よがりのバタバタとした試合展開となってしまいました。しかし、一試合目に延長を重ねたことが、私から堅さを取り除いてくれ、二回戦、三回戦、準々決勝への進出へ駒を進めることができました。しかし、一試合目に延長を重ねたことが、私から堅さを取り除いてくれ、となりました。準々決勝を迎かえる

本を取り返され、結果ベスト八という成績に終わりました。その時、私は無心で戦うことが、いかに大切かということを学びました。そんな記憶が甦った私は、この試合を前に無心になれと心にいいきかせました。そして、ここを乗り切らなければ、いつまでたってもベスト八の壁を破れず、私自身の壁も破れないと思つた私は、初心に戻ることに努め、準々決勝に臨みました。その甲斐あって何とか一本勝ちを收め、準決勝進出

「私と剣道」

卷之三

「どんな小さなことでもいいから、自分のやりたいことは精一杯やつてごらん。その結果が良くとも、悪く



も尽き決勝への進出は成りませんで
したが、試合終了後は清々しく悔い
の残らぬものとなりました。本当に
今大会では、多くの良い経験をさせ
ていただき、又、良い試合を拝見さ
せていただき、大変勉強になり、今
後の課題もたくさん出来ました。又、
私の試合を熱心に応援し、入賞を、
自分のことの様に喜んで下さった光
永先生を始めとした愛知県の先生方、
又この大会に出場する機会を与えて
下さった方々に感謝し、今後も自分
なりに精進してゆきたいと思います
ので、今後とも御指導の程、よろし
くお願ひ致します。

ことはもちろんのこと、その他のにも
収穫の多い大会だったようだと思いま
す。

私事で申し訳ありませんが、私は
昨年三月に四国の大手を卒業しまし
た。大学時代は剣道中心の毎日で、
念願の全国出場を果たしたもの、
今考えれば「負けてはいけない」と
いうプレッシャーに押し潰されてい
たように思います。「勝つ」ことだ
けを求める、本来養われるべき精神面
が育つていなかつたのではないでしょ
うか。

そして卒業後に出場したのが市民
スポーツ祭です。選手同士のあたた

ても、いすれは、何かを考ふる材料になるから…」

十月末より、武豊町の小学校で、三年生の担任をさせて頂いています。が、よくクラスの子ども達に今のことを話します。このことは年齢に關係なく大切なことだと思つていますが、私自身は夏の市民スポーツ祭での優勝を通して初めて実感することができたよう思います。

昨年八月末に行われた市民スポーツ祭の一般の部において、私は前述の通り南区の代表として出場し、優勝することが出来ました。「優勝」という体験が私にとって貴重だったことにはまづらっこで、その後この

と同時期に開催される為、インターハイ出場を決め、全国の壁を破ることに燃えている生徒と同様に目標を

した。

限りですが、そのことを顧みず、今回は、ペンを執らさせていただきま

三位は入賞できただけで、まだ未熟で勉強不足の私がこの様な場に出させていたゞくのはおこがましい

いようかなく、いくつかの幸運と周りの方々の温かく力強い応援により、三立に入賞できました。まことに

それが、何の間違いか実力以上の結果となり、正に幸運だったとしかい

て、精一杯、戦つてこようというチャレンジの精神で本大会に臨みました。

全国の強豪の先生方の胸をお借りし
ることができればという気持ちと、

稽古と共にしてきた、生徒達のおかげであり、そのことに少しでも報い

いただいている諸先生方や先輩、応
援して下さる周りの方々、そして日々、

今回、私が全国教職員大会へ出場できましたのは、常日頃から御指導

星城高校
瀬口智美

全国教職員剣道大会に 出場して

汗をたくさんかくほど、会場の温度は上昇していた。先輩の先生方が買つてきてくださったスポーツドリンクをがぶ飲みした。さらに、汗は流れた。しかし、決勝戦までは数時間の空き時間があつた。十分に休息をとり、体調を整えることができた。

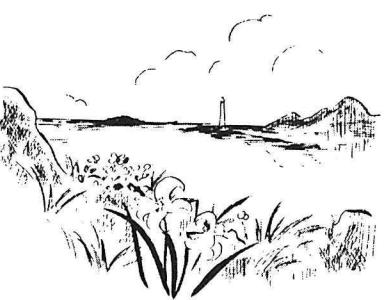
愛知県の先生方には、決勝戦を前にたくさんのお励ましの言葉をいただいた。「山下君、ここまで来たなら、勝つしかないぞ!」、「いつも通りやれば、勝てるよ。」などというたくさんの中でも、自分のとつて大きな闘志となつた。心の中では、不安定な精神状態を何とかしなくて、とにかく試合が「早く終わらないかなあ。」と思つていた。勝つても負けてもいいから、早く決着をつけたかった。

十分に休息をとつた決勝戦では、間合いの攻防がかなり激しかつた。相手に打たせなかつたが、自分も打つことができなかつた。何度も先に勝負を仕掛け、打ち込んでいつたが有効打突には認められず、そのまま試合は延長戦にもつれ込んだ。とにかく気を抜かないように心がけた。中途半端につばぜり合いになつたと

ところで、引き面を打ったことを覚えている。それから後は、あまり覚えていない。振り返ると、拍手で迎えてくれる愛知県の先生方がいた。

試合を終えて島に帰つてから、南知多町から表彰を受けたり、島の人々が祝勝会を開いてくださつたりした。また、たくさんの先生方からお褒めの言葉をいただき、我がクラスの児童からも「先生、やつたね！」と声をかけられた。自分という人間は、「たくさんの人たちに支えられて生きている。」ということを改めて痛感するとともにその方々に対し、感謝の気持ちでいっぱいになつた。

今後もその「感謝の気持ち」をもつて人々に接し、少ない練習時間を有効に活用しながら、次回の大会に備えたいと思います。



かい交流はもちろんのこと、何よりも一人一人が楽しんで剣道をする姿に驚かされました。参加者の中で、女性は私一人だったのですが、緊張に稽古をしている仲間に囲まれ、他の誰よりも楽しんで剣道をする自分の姿がありました。

十一月には、県内の市町村対抗戦が大府市で開催されました。全国レベルといつてもおかしくない程、内容の濃い試合の中で、この大会でも選手の方々の礼儀正しく、さわやかに試合に臨む姿が印象に残りました。技術的なことだけでなく精神面も鍛え、準決勝という成績をおさめた南区の一員として、次回は参加をしたいと思います。

試合を行う際に、結果よりもその過程が大切であることは、よく言われることです。しかし、実際には勝敗に左右されてしまいがちです。私自身も今だに結果にこだわることが多いのですが、今回の経験を生かして、今後も長く剣道を続けていくためにも、楽しく稽古をしていきたいと思いました。

また、現在の仕事を通して、子ども達にもこれらのこと伝え、剣道

のよさを少しでも理解してもらえばと思います。

わたしと剣道

小川哲史

保育園の年長の五月、親戚の人に誘われて、母と稲荷会館を訪ねた。道場に響きわたる「面・胴・小手」という叫び声に戸惑いを感じていた。稽古が終わって、又従兄弟たちと一緒にしゃべりをしていたときに、「来週からお出で！」と道場の先生が私の姿を見て言ってくれた。その一言が私の剣道の世界に入る要因となつた。

そして、次の週から道場に通い始めた。四月に入つた人たちと一緒に稽古をすることになつたので、ついていくのが必死だった。でも、防具を母と妹につけてもらいながら、みんなと楽しく稽古ができた。ある日、仲間の失敗を私が笑つたことに對して先生に怒られたことなど、昨日のことのように覚えている。

小三の時、道場が一宮スポーツ文化センターに移つた。前の道場より

ていて、剣道は私にとつてリハビリでしかなかつた。

九四年二月ごろ、「初段を受けてみなさい」と道場の先生から言われた。木刀への恐怖は残つていたが、勇気を持って「はい」と約束した。そして、その年の四月から女子剣道教室の月一回の形稽古に参加させてもらつた。最初のころは、手元が狂つて、相手に当たるのではないかとおそるおそる練習していた。そんなとおり、「剣道形には一本目から十本目まで詳細な決まり事があるから、心配はないよ」と先生からアドバイスを受けた。それ以来、次第に恐怖感がなくなり、思い切つて立ち向かうことができるようになつた。そして、翌年の春の昇段審査に合格した。

現在、次の昇段審査に向けて練習中である。また、形の審査のおかげで、剣道は個人スポーツであるけれど、日本剣道形に関して、打太刀と仕太刀とのチームワークが存在し、それぞれの立場で最善を尽くして表現することが分かつた。そして、その魅力に惹かれて稽古をしている。しかし、幼い頃から臆病癖のために、未だに怖そうな先生や見知らぬ先生を避けている。さらに、癪癖・傲慢癖などがあり精神的にも不安定な姿がありました。

のよさを少しでも理解してもらえばと思います。

も狭く、保護者は道場での見学ができないなくなつた。当然、面も自分で着けなくてはならなかつた。最初のうちは、なかなか面が着けられずに、十分経過したら先生が手を差し伸べてくれた。そんなときはとても悔しく情けなかつた。でも、回数を重ねるうちに、自分で面を着けることができるようになつた。初めて一人で着けられたときは、学校の先生に報告したぐらい嬉しかつた。しかし、このころから臆病癖・顔見知り癖など、自分の思わぬ欠点が目立つようになつてきた。なぜなら、新しい道場では、練習内容の関係で今まで一緒に稽古してきた友人たちと分かれてしまい、見知らぬ人ばかりになつてしまつたからだ。

そこで、自分が思ひうる限りのことを思つて、見知らぬ人に稽古をするようになつた。その上、体力面においても差が拡大してきて、剣道が嫌いになつてきた。それから約三年間、嫌がる私と母の喧嘩の毎日で最終的には母や妹に押されて道場に通つた。だから考へると、思い切つて同学年の人と稽古していれば、コミュニケーションの訓練ができ、中学・高校の部活動が有益になつたのではないかと思う。小六の時、私に障害があることが判明した。でも稽古では気になつてしまつたからだ。そして、基本稽古のほうも次第に妹と稽古するようになつた。その上、体力面においても差が拡大してきて、剣道が嫌いになつて、その代わりに、持久力をつけるために毎日放課後、学校の周囲を走っていた。そのお陰で、その年の秋に二年春に退部した。その失敗が現在でも頭の中に残つていて、三年の秋、一級を受けた。しかし、相手にかけられたときも、剣道部に入ろうと思つて、二学期のはじめ、剣道部に入りたいという気持ちで先生に無理を言つて、入部させてもらつた。でも、一年生の苦しい夏休みを乗り越えずに入つたことが、自分の中で蟠りがあつて、二年春に退部した。その後、練習内容の関係で今まで一緒に稽古してきた友人たちと分かれてしまつた。そして、基本稽古には、保護者は道場での見学ができるようになつた。またその頃は、下手だから打たれるんだと思いこんでいた。

中学の入学時、剣道部に入ろうと思つて、下手だから打たれるんだと思いこんでいた。体験入部のときも、なんとかついていけると思った。しかし、自分の欠点と体力負けの恐怖で剣道部に入ることができなかつた。

二学期のはじめ、剣道部に入りたいという気持ちで先生に無理を言つて、入部させてもらつた。でも、一年生の苦しい夏休みを乗り越えずに入つたことが、自分の中で蟠りがあつて、二年春に退部した。その後、練習内容の関係で今まで一緒に稽古してきた友人たちと分かれてしまつたからだ。そして、基本稽古には、保護者は道場での見学ができるようになつた。またその頃は、下手だから打たれるんだと思いこんでいた。

高校に入学したときも、剣道部に入ろうと思つた。しかし、自分の欠点と中学時の失敗が心中に残つていて剣道部にはいることができなかつた。その代わりに、持久力をつけるために毎日放課後、学校の周囲を走つて、そのお陰で、その年の秋に一級に合格した。しかし、初段の審査からは形があり、木刀で相手に負傷させたらいけないと思つて試験はこれで終わりにしようと考えた。それ以来、約八年間試験から遠ざかつて合格となつた。

死の薬である。

最後に、このスポーツが自己の礎石の一つになることができたことに對して、また、「楽しい」ところまで導いてくれることに對して、父・母・妹・諸先生方・一宮剣道連盟の諸先輩・仲間に感謝したい。

剣道を習つて良かったことは、剣道を習い始めたときが幼年であったために、無意識のうちに「剣道の訓」を素直に享受できた。具体的には、相手に対して心の底から素直に挨拶ができる。小・中・高校生と一緒に稽古しているのだろうか？ 精神的に若々しくなつていく。自己完結が習慣になつて、人に助けを求めることが少なくなるつっていく。オセロの駒ではなく碁石のような人間になつていく。逆に、心残りなのは、周囲の人間に支えられている立場上、無意識のうちミスから序列を作つてしまつていた。そして、特に思春期のころには他の人よりも恥じらいが強くなり、友人同士の開放的な雑談についていくことに自ら避けていた。また、年相応にぎりぎりのところまで暴れることができなかつたことだ。

剣道は私にとつて、いつでも原点に戻れる・再挑戦できるベースキャンプであり、道場から聞こえる声響は新しい生命を与えてくれる不老不死の薬である。

「剣道に感謝」

愛知県岩倉武道館
小学六年生

木ノ本淳

「宣誓／＼私達選手一同は剣の理法の修練による人間形成の道であるという理念に基づいた先生の教えを守り日頃の稽古を十二分に發揮し明るい21世紀を担う者同士友情の和を広げ、少年剣士として礼儀正しく正々堂々と最後まで力一杯戦うことを誓います。」

これは、ぼくが今年の夏、地元岩倉市の大会で初めて何百人という大人数の前で誓った言葉です。緊張で頭が真っ白になり、足が震え、今に

も倒れそうになる程でしたが、ぼくが言い始めたら、来賓の先生方が一斉に注目されたので、腹に力を入れて堂々と声を出しました。この七年間、先生から教えてもらつたこと、先輩や友達から学んだこと、色々な場面を思い出しながら将来の自分にも誓う気持ちで考えた宣誓です。

ぼくが剣道を始めたのは幼稚園の年長からです。強くなりたい一心で一生懸命稽古しましたが、試合の結果は思うようにならず、悔し涙で帰りました。松岡先生は、「剣道は試合に勝つことだけが目的ではない。試合にむけて、自分がどれだけ努力したかが大切な事である」と教えて下さいます。母からも、「自分の心に勝つて、楽しんで剣道ができるように色々な人を見てごらん。」と言われました。そんな中、五年生の時に第10回世界剣道選手権大会があり日頃の稽古を十二分に發揮し明るい21世紀を担う者同士友情の和を広げ、少年剣士として礼儀正しく正々堂々と最後まで力一杯戦うことを誓いました。世界大会当日にオランダへ参戦しました。世界大会当日にオランダのヨランダさんと話すことができ、友達になつてもらいました。しかし、何といつても驚いたのは、ハワイのヘンリー・スマールス選手に、両足がなかつたことです。どうやつて剣

道をするのだろうと思つたら、ハン

ディキヤツプをものともせず最後まで立派な試合でした。この時ぼくは松岡先生の言われた言葉がよく解りました。世界大会での感動は一生忘

らのぼくは、今までの勝負に拘わつた剣道が嘘のようにふつされて、精神を鍛えるよう心がけました。主将になり、プレッシャーもありました

が、それはぼくにとっては修行だと思つて楽しめるように努力しました。そのおかげで、試合も入賞できるようになり、それが嬉しくて、又、頑張れるというパターンが作れました。

そしてこの夏、第32回全日本少年剣道錬成大会で、満足のいく試合ができました。その日ぼくは、また感動をもらいました。それは、片腕で戦っている選手の試合を見たのです。何か明るいものに向かつて、さがらない、強気の剣道をしていたのです。あのスマールスさんと同じ輝きのある選手でした。なんとか勝ちあがりました。その感動を頭に、夏休み、青少年年赤十字リーダーシップトレーニング・センターに参加しました。そこ

では、手足の不自由な人、目の不自由な人の体験をし、障害者の苦しみを少しでもわかる勉強をさせてもらいました。そこには、ぼくの知らない

かつた想像を絶する程の苦しみがあったのです。ぼく達は今、何の苦もな防具のひもを結んでいます。しかし、陰では、人の助けが必要だったのです。健常者も障害者も共に明るい

21世紀へ歩みたいものです。ぼくは昔、「片うでの少年剣士」という本を読んだのを思い出し再読みました。その後なので、以前に読んだ時とは全くがう気持ちで読みました。本の中の主人公が、人の数倍も左手のトレーニングをし、努力した事が痛い程解りました。

「千里の道も一歩から。」という言葉がぼくは大好きです。ぼくは、負けてばかりでしたが、挫けずに稽古していれば必ず道は開けるということが学べました。そして、全てに感謝し、夢に向かつて多くの友達と剣道を続けたいです。「剣道。」それは、ぼくに交劍知愛と友情を教えてくれた宝物です。

園児と剣道

永田 操

操

に始まり、「礼に終る」ということから教えます。「おねがいします」「ありがとうございます」とうございました」を何度も大

きな声で繰り返します。子供達のちやな目が輝きます。「滑り出し順調、よし、よし」次に正座(座り方、立ち方)黙想、座礼へと進みます。

キラキラ輝く小さな目と明るく元気な声が園内に響きます。豊田市東部の住宅街、ここに私が通う「ベル豊田幼稚園」があります。姉妹園の「ベル三好幼稚園」でも、安藤千里三段が指導し、まさに園をあげての剣道理解者の場であります。

私が園児に剣道の指導を始めてもうすぐ二年。当初、指導を引き受けにあたり、「私の指導で大丈夫かな」ことかが学べました。そして、全てに感謝し、夢に向かつて多くの友達と剣道を続けたいです。「剣道。」それは、ぼくに交劍知愛と友情を教えてくれた宝物です。

先ず最初に最大の課題「剣道は礼

幼児教育と剣道

聖英学園 伊藤鶴吉

学校法人聖英学園の、江南、江南

第二、師勝はなの樹幼稚園が、幼児

教育に剣道を導入して二十数年に

なる。ロータリークラブの青少年剣道

大会に参加して「礼儀正しさ」「り

りしい姿」「力強さ」「大きい声」など感動して、故栗本信三七段(試切の名人)に幼児教育に剣道を取り入れたいと相談したのがきっかけだつた。初めは一笑されたが、私達は遊びでよいのでやつてほしい」と頗り遊び込んだ。「幼児教育は全て遊びであり、遊びから成り立つ。子どもから遊びを取つたら何も残らない。ぜひ遊びとしてやっていただなか」と申し上げたところ「遊びか、それや、ええ、やりましょう。」と快く引き受けた。幼児剣道がスタートした。最初、園児は、物珍しさも手伝つて、正座、礼、前進後退とか動作を繰返していたが、日がたつにつれ、教師も園児も目が真剣になってきた。教師は、剣道ノートを作り園児の一挙一動を記録(絵図入り)し、その進歩や行動をまとめた。

この頃にはもう子供達には集中力はありません。あつこつちで「すわった」「たつた」と自分勝手に騒ぎ、他の子が出来ようが出来まいが、お構いなしです。全く集中ができません……。そこで、子供達が興味を持つように、竹刀を使っての体操を取り入れました。もう一つの工夫は番号で行動させるということです。

一番、左足を下げる。二番、左の膝をつく。三番、右の膝をつく。と

いうように番号で行動を決めるのです。正座は五番までに座る。立つ時は四番までで立つ。これが意外にも子供の集中力と統一性を生みました。

以後、素振り、提刀、帶刀も番号をつけて練習しました。このことによつてことの他、早いテンポで上達させることができました。

今では二人組を作り、片方が竹刀を受け、もう一方が打てるようになります。さらに前進後退正面打ち、屈伸正面打ち、踏み替え足正面打ち、跳躍正面打ちまで出来るようになります。正面打ちまで出来るようになります。正直言つて私も園児達がここまでやるとは思つてもみませんでした。三月には、一年間の成果を父兄と年中組園児に披露するという大舞台が待っています。指導をはじめたので、子供達の成長には驚かされ



キラキラ輝く小さな目と明るく元気な声が園内に響きます。豊田市東部の住宅街、ここに私が通う「ベル豊田幼稚園」があります。姉妹園の「ベル三好幼稚園」でも、安藤千里三段が指導し、まさに園をあげての剣道理解者の場であります。



称号及び段位合格者

事務局だより

平成十年度の受験資格・手数料及び学科問題は次のとおりです。

受審段位	修業年限	年齢または学年
初段	一級受有者	中学校2年生以上
二段	初段受有後1年以上	
三"	二" 2"	
四"	三" 3"	
五"	四" 4"	
六"	五" 5"	
七"	六" 6"	
八"	七" 10"	満46歳以上
九"	八段受有者	満65歳以上
十"	九"	

段・級	審査料	登録料
8～2級	800円	1,600円
1級	900円	2,100円
初段	1,600円	4,300円
式段	1,800円	5,100円
参段	2,600円	7,400円
四段	3,200円	9,200円
五段	4,000円	13,900円
六段	9,000円	31,000円
七段	12,400円	50,100円
八段	15,800円	72,700円
称号		
鍊士	17,000円	40,600円
教士	24,900円	58,600円
範士		78,750円

※審査料 据置き、消費税一部県剣連負担。
※登録料 消費税五%込み
※審査日前日までに満七十歳になつた方は、登録料免除に際し、愛知県剣道連盟入会金となりません。

※審査料 据置き、消費税一部県剰連負担。
※登録料 消費税五%込み
※審査料前日までに満七十歳になつた方は、登録料半額
※一般受験に際し、愛知県剣道連盟入会金として終身会費五、〇〇〇円を納入しなければなりません。

平成十年度、学

出題教科書

(1)
剣道の

(2) 剣道の

(1) 剣道の

(2) 剣道の

(1) **剣道の三段**

(2)

(4) (3)

(5)

二、出題形式

記述式、語句

て解答)等です。

居合道学科問

居士錄卷之二

改正 平成七年十一月二日
施行 平成八年四月一日

平成10年度事業計画

愛知県剣道連盟

各地区自主練習開催日
名古屋…毎月第2月曜日・第4月曜日(19

THE JOURNAL OF CLIMATE

沈氏文集

【備考】 ◉全剣連 ◉全劍連盟年会 ◉恩連会員連盟年会 ◉恩連会員連盟年会

●上六：○主六之凶了。一失足成千古恨。

連 盟 所 在 地

財団法人 愛知県剣道連盟 理事長 中村 薫 事務局長 竹味由登
〒453-0044 名古屋市中村区鳥居通り2-41 ウチフジビル2F
TEL052-481-0093 FAX052-481-0095

尾張地区剣道連盟 理事長 青山 定男 事務局長 寺澤 将美
〒491-0903 一宮市八幡4-1-28 一宮武道館内
TEL0586-43-1023 FAX同じ

名古屋市剣道連盟 理事長 山本重夫 事務局長 田中弘
〒454-0022 名古屋市中川区露橋1-31-20 富士美ビル2E
TEL052-361-8073 FAX同じ

尾南地区剣道連盟 理事長 北 村 豊 事務局長 伊 藤 勲 次
〒477-0037 東海市高横須賀町真光寺20番地
TEL0562-32-0103 FAX同じ

西三河剣道連盟 理事長 太田吉郎 事務局長 浅井善七
〒446-0037 安城市相生町3-7
TEL0566-76-1194 FAX0566-75-3664

東三河剣道連盟 理事長 松本 武 事務局長 富田 孝夫
〒443-0104 蒲郡市形原町西御屋敷28-2
TEL0533-57-2769 FAX0533-69-7117

中日新聞社

成績の持参またはファックス先は以下の通りです。

- ◇本社 (名古屋市中区3の丸1ノ6ノ1)
FAX 052(201)4331
 - 問い合わせは 電話052(221)0793
 - ◇豊橋支局 (豊橋市八町通3ノ91)
FAX 0532(54)4655
 - ◇岡崎支局 (岡崎市東明大寺町16ノ18)
FAX 0564(25)1554
 - ◇豊田支局 (豊田市美山町3ノ34/34)
FAX 0565(25)1118
 - ◇一宮支局 (一宮市大江1ノ13ノ13)
FAX 0586(72)5035
 - ◇半田支局 (半田市出口町1ノ45ノ18)
FAX 0569(23)2372
 - ◇春日井支局 (春日井市鳥居松町3ノ60)
FAX 0568(81)2797

讀壳新聞社

FAX 052(211)1085

鉢木瞭(七〇歳)
剣道範士七段
平成九年十一月十七日逝去
船橋正一(八十五歳)
剣道範士七段
平成十年三月十三日逝去
謹んで御冥福をお祈り申し上
げます。

一剣道人口減少に伴うその原因と対策について、普及委員会での調査の結果、広報媒体の活用及び少子化傾向、中学一年生の目標の希薄、指導者の問題等、諸々があげられて いるが、当局としては順次その目的達成の為、各施策を講じ推進して行く方針である。会員各位におかれましてはよろしく意見ご要望をこ一報下されば幸いです。なお引き続き大会等の新聞への投稿については重ねてお願い致します。

編集後記

劍閣公人
支船糸割追尾

12月			1月			2月			3月		
日	行	事	場所・時間	日	行	事	場所・時間	日	行	事	場所・時間
1火	1金	▲県連稽古納め・忘年会	名鑑体	2土	▲剣道合同稽古会	1月	▲剣道合同稽古会	1月	1月	▲剣道合同稽古会	枇杷島 19:00
2水	2土	※西三河剣道級審査会	名鑑体	3木	2火	2火	2火	2火	2火	2火	枇杷島 19:00
4金	3日	※東三河剣道級審査会	名鑑体	4月	3水	3水	3水	3水	3水	3水	枇杷島 19:00
5土	4日	※東三河剣道級審査会	名鑑体	5火	4木	4木	4木	4木	4木	4木	枇杷島 19:00
6日	5日	※東三河剣道級審査会	名鑑体	6水	5金	▲剣道八段受審者講習会	6土	5金	▲理事・評議員会	6上	枇杷島 19:00
7木	6日	※東三河剣道級審査会	名鑑体	8金	7日	※名古屋春季少年剣道大会兼県予選	7日	6上	△第14回東海四県対抗剣道大会	6上	枇杷島 19:00
9水	8日	※東三河剣道級審査会	名鑑体	9:00	9土	※尾張東地区小中学生剣道大会兼県予選	8日	7日	△第29回東海四県対抗居合道大会	7日	枇杷島 19:00
10木	9日	※東三河稽古始め	名鑑体	14:00	10日	▲県連稽古始め（剣・居・杖）	10:00	9:00	※第36回東海私学剣道選手権大会	7日	枇杷島 19:00
11火		※東三河稽古始め	名鑑体	11月		■講習会	14:00	8月	※第18回まこと少年少女剣道大会	7日	枇杷島 19:00
12水		※東三河稽古始め	名鑑体	12火		■講習会	9:00	9月	8月	8月	枇杷島 19:00
13木		※東三河稽古始め	名鑑体	13木		■講習会	10:00	10水	9月	9月	枇杷島 19:00
14木		※東三河稽古始め	名鑑体	14木		■講習会	11:00	11木	10水	10水	枇杷島 19:00
15金		※尾張居合道演武会	鍊成館	14:00		▲剣道合同稽古会	12金	12木	11木	11木	枇杷島 19:00
16土		※名古屋部高等学校1年生剣道大会	鍊成館	15:00		▲剣道松山審査会	13土	13木	12木	12木	枇杷島 19:00
17日		※西三河剣道級審査会	鍊成館	16:00		※東三河春季少年剣道大会兼県予選	14日	14木	13木	13木	枇杷島 19:00
18金		※名古屋稽古始め	鍊成館	17:00		※第6回愛知県黒式道館少年剣道大会（中学生）	15日	15木	14木	14木	枇杷島 19:00
19土		※西三河稽古始め・新年交札会	鍊成館	18:00		※第2回愛知県黒式道館少年剣道大会	16日	16木	15木	15木	枇杷島 19:00
20日		○第2回全日本美濃田女子剣道大会	鍊成館	19:00		※第1回尾張地区小学生剣道大会兼県予選	17木	17木	16木	16木	枇杷島 19:00
21日		※西三河高等學校剣道大会	鍊成館	20:00		※第14回西三河少年剣道大会兼県予選	18木	18木	17木	17木	枇杷島 19:00
22日		※西三河式剣道大会	鍊成館	21:00		※東三河高等學校冬季剣道大会	19木	19木	18木	18木	枇杷島 19:00
23日		※西三河稽古始め	鍊成館	22:00		※第1回尾張地区高校1年生剣道大会	20木	20木	19木	19木	枇杷島 19:00
24日		●杖道講習会（23～24日）	鍊成館	23:00		扶桑総体	21日	21日	20木	20木	枇杷島 19:00
25日		●杖道講習会（23～24日）	鍊成館	24:00		第27回尾張地区高校1年生剣道大会	22日	22日	21日	21日	枇杷島 19:00
26火		●杖道講習会（23～24日）	鍊成館	25:00		※第26回愛知県少年剣道選手権大会	23木	23木	22日	22日	枇杷島 19:00
27水		●杖道講習会（23～24日）	鍊成館	26:00		●第2回全国柔道選手権大会（26～28日）	24木	24木	23木	23木	枇杷島 19:00
28木		●杖道講習会（23～24日）	鍊成館	27:00		●第8回全国高等学校柔道選手権大会（27～29日）	25木	25木	24木	24木	枇杷島 19:00
29金		●杖道講習会（23～24日）	鍊成館	28:00		●第1回全国柔道選手権大会（26～28日）	26木	26木	25木	25木	枇杷島 19:00
30土		▲居合道・杖道合同稽古会	鍊成館	29:00		●第2回全国柔道選手権大会（27～29日）	27木	27木	26木	26木	枇杷島 19:00
31日		●居合道・杖道合同稽古会	鍊成館	30:00		●第3回全国柔道選手権大会（28～30日）	28木	28木	27木	27木	枇杷島 19:00
1月		●居合道・杖道合同稽古会	鍊成館	31:00		●第4回全国柔道選手権大会（29～31日）	29木	29木	28木	28木	枇杷島 19:00
2月		●居合道・杖道合同稽古会	鍊成館			●第5回全国柔道選手権大会（30～32日）	30木	30木	29木	29木	枇杷島 19:00
3月		●居合道・杖道合同稽古会	鍊成館			●第6回全国柔道選手権大会（31～33日）	31木	31木	30木	30木	枇杷島 19:00

広報「観の眼」第二十一号
平成十年六月一日

財団法人 愛知県剣道連盟

〒四三一〇〇四
名古屋市中村区鳥居通り二ノ四一
ウチフジビル二階

電話(〇五二)四八一一〇〇九三
FAX(〇五二)四八一一〇〇九五

題字・故竹田弘太郎名誉会長